

確認審査結果報告書

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院

2025年8月22日



公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

- 受審種別 : 機能種別版評価項目 3rdG:Ver. 3.0 (主: 一般病院 3)
- 確認審査
 確認審査の方法 : 書類等による審査

1. 各審査における評価および評価所見

No	項目番号	評価項目
1	1.2.2	地域の医療機能・医療ニーズを把握し、他の医療関連施設等と適切に連携している

(1) 本審査「審査結果報告書」(発行日: 2025年1月6日)

評価: C

所見: 【適切に取り組まれている点】

地域の医療機関等との連携は医療連携室が担当し、紹介受診、紹介検査の予約などの前方連携に取り組んでいる。地域医療支援病院として約1,100名程の登録医と連携している。医療機関等との連携では、来院、訪問等で年間380件程の実績があり、うち80件程については、各診療部長等が訪問し、顔の見える連携に努めている。今後も積極的な訪問の継続が期待できる。紹介患者の紹介元への医療連携室からの来院報告は翌日には発送している。

【課題と思われる点】

紹介患者の紹介元への返書管理について、医師が記載する初回の返書は、1ヶ月以内の返書率100%を目標とし、紹介1週間後に各診療科へ未返書の情報を提供している。しかし、1ヶ月後の返書率は76%程であり、2ヶ月後でも82%程であった。また、手術や治療内容等の経過、退院等の返書については把握されていない。返書管理の手順等を定め来院報告を速やかに行い、来院時の返書率を100%にすること、また診療内容等の経過や退院等の返書状況を把握することが求められた。指摘を受けて、2024年7月における1ヶ月以内の初回の返書率は94.0%となった。しかし、診療経過や退院時の返書状況については依然として把握されていない。少なくとも初回および退院時の返書状況の把握と確実な返書を行うよう、引き続き改善が求められる。

改善要望事項: 少なくとも初回および退院時の返書状況を把握し、確実に返書を行ってください。

(2) 確認審査「確認審査結果報告書」

評価: B

所見: 本審査での指摘を受けて、患者支援部ミーティングで返書管理及び手順について検討を重ね「虎の門病院返書管理規程」および「返書手順(医師用)(患者支援部用)」を定めた。具体的には、初回受審から1週間以内に来院報告書または診療情報提供書の作成を原則とする「来院報告(初回)」、退院後1週間以内に退院時返書の作成を原則とする「退院時返書」の運用を明確にして、いずれも30日以内の返書状況を確認して管理している。また、「外来経過報告書」を作成し、初回初診から3ヶ月後の返書状況を確認、病理検査の結果待ち等で返書が遅れている場合も進捗管理を行うよう改善している。

これらの取り組みは、3月13日の運営会議にて承認を得て、3月17日の部長会議において病院全体に周知した。4月以降の進捗状況については、「来院報告(初回)」「退院時返書」「外来経過報告書」の返書状況がいずれも90%台後半を維持しており高い実績が見られる。

以上のことから、課題について真摯に検討し改善策に取り組まれていることが確認された。今後においても継続的に実践されることが望まれる。

改善要望事項： ー

2. 評価C（改善要望事項以外）の評価項目についての取り組み状況の確認

該当項目はありません。

3. 総括

改善に取り組まれており、一定の水準に達していると判断する。

4. 認定の判定

認定の判定： 条件付解除